

本紙の六月附録(第三回)
十二名家の洋書附録第一第二回は既に發行したり本月
を以て發行する第三回の附録は愈々來る八日の本紙に
添へる事と定めたり其書家諸題は左の如し

五姓田芳柳氏 杜若

右附録發行當日の新聞は臨時に紙数を増刊するを以て
印刷上の都合に依り當日の紙上に掲ぐる廣告の申込期
日を來る六日とす此期日に後れたる廣告は紙上に掲ぐ
る能はざる事あるべし
當日の新聞一部は定價を五錢とす

時事新報 條約改正

近來條約改正の評判喧しくして或は必ず成功す可し
と云ふものもあれば或は然らずと云ふものもあり事
否は我輩の知らざる所なれども假りに成功するものと
して其改正の條約を如何と云ふに多年來の困難漸く希
望を達したる次第にして實際に多少の譲歩は必ず免る
可らず敢て怪しむに足らずと雖も民間の論客輩は苟も
譲歩ありては決して満足す可らず必ず辭を鋭くして
當局者を攻撃するものとならん蓋し其輩は雖も中心には
改正の困難を知らざるに非ず多少の譲歩は素より期す
る所なれども畢竟は條約其物に反對するに非ず唯ふれ
を以て政府を苦しむるの辭柄を爲し以て攻撃を試みん
とするものに在るれば假令純然たる對等の條約を
見るも黙して止む可きに非ず種々の辭柄を設けて之に
反對するは知れ切たるものと當局者が平素より對
等條約を口にして且つ其必成を公言しながら其結果を
見れば譲歩の實を免れずと云ふ恰も反對の好辭柄を興
ふるものにして論客輩の最も付込まんとする所なる可
し左れば當局者に於ていよいよ成功の成算あらんには
雖もでも秘密を守り事の成就に至るまでは一切他に知
らしめずして電光石火の間に之を發表するを肝要な
る可し今の民論の様子を見るに海關稅の規定は議會の
協賛を経ざる可らずと論じ或は改正談判の成行を政府
に質問するなど恰も其事に味を容れんとするものも
如くなれども一切秘密を覺悟する上は決して動可き
に非ず條約の事は都て天皇の大權にして議會などの云
ふ可き所に非ずとて之に取合はざるは勿論、或は政
府内部のものも雖も苟も事の局に當らざる輩には一切
語らずして飽までも秘密を旨とし當局者の思ふ儘に存
分の談判を遂げ首尾よく整ふて批准を経るに至らば疾
雷一聲世人をして耳を掩ふに違わらじむざる可し斯く
て其條約を見れば當に對等ならざるのみか多少の譲歩
は勿論にして民論の非難は到底免る可らず當局者たる
もの之に對して如何す可きやと云ふに我輩は其發表
と同時に自から地位を退て他に譲るものと警告する
ものなり其譲を受け後の局に當るものは如何なる種類
の人々なる可きや知る可らずと雖も若し今の民論の
輩をして其局に當らしむるものとあらば頗る妙なる可
し其輩は素より改正の條約に反對の意見なれども既に
批准を経たるものは覆水盆に返らず自から局に當りて
條約履行の責に任する上は平素の意見は兎も角もとし
て國の爲に其責任を盡さざるを得ざるのみか其輩と
て今日の如く無責任の地位に在ればとて他を苦しむ

るが爲めに種々の辭柄を設けて云々するものとあれども
一旦地を易へて自から責任の局に當るときは他を苦し
めたる辭柄は自から苦しむの事實を爲りて忽ち年來の
非を悟りて以て民論一變の機を促すに至る可し然るを今
の當局者が改正成功の機に至りても自から退くを知る
の心得、揚々自得、自から其功名に誇るが如き意味
もあらんには左なきだに反對の民論はますます過激に
趨り其餘勢の激する所、如何なる奇變を演ずるやも知
る可らず當局者の一身は自業自得として致方なけれ
ばも之が爲めに政界の秩序を攪亂し國の治安を害するの
結果は免る可らず容易ならざる次第なれば當局者たる
ものは篤く此邊の事情を考へていよいよ成功の機に至
らば小功名に懸せしめて自から其身を處するの覺悟
あらんふと我輩の豫め忠告する所なり

官報

○司法省告示第二十四號
鳥取地方裁判所管内溝口區裁判所根雨出張所來ル六月
十一日ヨリ開廳ス
明治二十七年五月三十一日 司法大臣 芳川顯正

○司法省告示第二十五號
鳥取地方裁判所管内溝口區裁判所根雨出張所開廳準備
ノ爲メ來ル六月九日其管轄各村ノ登記事務ヲ取扱ハス
明治二十七年五月三十一日 司法大臣 芳川顯正

○東京府訓令第三十號
郡市町村區 公私立學校
公私商業學校尋常中學校專修科其他ノ學校ニ於テ生徒
ノ商業實習ノ爲ニ紙幣ニ見紛ハシキ裝飾ヲ加ヘタル紙
片ヲ用ユヘカカラサル旨文部大臣ヨリ訓令相成候ニ付此
旨心得ヘ

雜報

○兩本位會に對する米人の評説
去月二日三日の兩日英國倫敦府知事の官宅に於て兩本
位會に關し會合を催はし英國の兩本位論者を始め大陸
及び米國より出席するものありて會衆四百餘名の多
數に達し此會が英國從來の政略を變ぜしむる手段等を
相談したるものとば屢々掲載せし所なるが是等の運動に
付き米國政治家の評論する所を左に掲ぐ
米國政府の満足 米國政府は近來歐洲強國の中に銀價
恢復の手段を講ずるもの追々増加したるを見て心陰か
に満足の色あり如何となれば大統領クリヴァランド氏
が一身一黨の名譽にも頓着せずして主張したる政略、
適中するの趣あればなり大統領は兼てより世界の商
國互ひに一致するにあらざれば到底金銀の比率を維持
する能はずと信じ獨り米國のみにて爲す所あらんとす
るの說には飽迄反對し極端の銀論者之を駁して同盟
の行はるべき見込なきに其行はれんとを望むは恐の至り
と云ふにも拘はらず米國がシャーマン法の購銀條項を
廢するは歐洲に銀論を促すの基なり若し歐洲諸國にして
合衆國が銀價の維持に力を盡さざるをすれば貨幣の
不足を感ぜしむるも米國と同様其逼迫に究するに至るべ
しと主張したるが故に昨今英獨佛等に於て彼是れ運動

する者あるは要するに米國現政府の政略適中したるに
外ならずとて満足するものなり左れば英國なり獨逸なり
共に萬國會議を催はして是非兩本位を實施すべしと
云ふ程までには尙ほ困難の多きを察して近頃墨西哥政
府より米國へ相談せし萬國會議開會の議には同意せざ
るべしとのみと
上院議員の電報 去年シャーマン購銀條項討論の時廢
止の方に投票せし米國上院議員シャーマン、グリー
ブ、アリンソン、ホルマン、グワイス其他の人々は倫敦兩
本位會の會長倫敦府知事へ向け左の電報を送れり
我々は列國をして速に銀價を恢復せしめんとするの
運動に同感を表し謹んで會長府知事足下に向つて兩
本位會の開會を祝す思ふに列國同盟の上一定の割合
を定めて金銀兩者の自由鑄造を許せば人間必要の貨
幣を適度に供給するものとを得て商業社會爲替の變動
より生ずる困難は忽ち消滅すべし我々は其必ず然る
べきを信じて疑はざるものなり云々

シャーマン氏の說 氏はレバブルカン黨有名の政治家
にして米國のみ獨行にて銀貨の自由鑄造を許さんとの
說には反對の人なり氏は或る人に語りて曰く予は常に
銀貨の自由鑄造に反對したるにも拘はらず出來るだけ
銀貨を多く用ふるの制度を設けんと望むものなり
尤も金貨は商業國の普く認可する貨幣なれば銀貨を多
く用ふるに當りては同貨の單本位とならざる様又金貨
の海外に出ざる様注意せざるべからず是をさへ注意す
れば銀貨を多く用ふるものと一國經濟の上にて最も得
策なるべし而して倫敦の會議は金銀兩貨を併用ふる
様周旋せんとするものなれば予も亦信實其事を賛成し
て該會へ送致せし電報にも加名したる譯なり予の說を
以てすれば金銀兩者の割合を定むるに當りて銀の産出
高大いに増したるものとを考へ今の市場の割合を其儘に
用ふるものとを至當と信す
上院議員テラー氏 曰くシャーマン氏其外平生自由鑄
造に反對する上院議員が倫敦への發電に連署したるは
以て彼等に至るまで兩本位制度の必要を認めたる證據
として見るべく又國內にて爭ふ時は所說一定せざれば
も其衷實實は金銀兩者の并用に異説なき證據として見
るべし

ヒル氏はデモクラチック黨一派の首領にして氏も亦
倫敦への發電に連署せし一人なり曰く予は倫敦の會議
に聲援して兩本位說の實施に盡力せしめん爲め連署し
たり金貨單本位は到る所の人民に害を興ふるが故に速
に適當の救済法を講ぜざるべからざるものと今は新聞記
者、政治家、實業家の何人を問はず心あるものは實論
なきに至れり而して近頃の様子を察するに英國人も亦
追々其說に傾きたるもの多きが如し就ては傍らより之
を補助して一日も早く其說の行はるる様盡力せんものと
我米國政府の義務なり
右の外アリンソン、ブリーリーの二氏及び下院議員にて
有名なる銀論者ブランド氏等の評論あれど孰れも皆萬
國聯合兩本位の實施を望むものにして説く所大同小異
なれば略して記さず
○石垣嶋官有地の貸下に就て 沖繩縣八重山
群嶋の中石垣嶋の官有野凡を二千五百坪を松岡康毅
氏外八名に貸下けたる旨趣は洋式の製糖場を建設する
に在り然るに請願人等は當初の願書を捨てし願みず單
に開墾の土地を土民に貸付けて地代を徴せんとする

は不都合なりとて衆議
政府に提出したれども
と云を聞くに開墾製糖
を沖繩縣知事に提出せ
首唱者は實に中川虎之
て父の代より引續き製
數十年來外國製糖の輸
業の振興を志し支那香
方を歴遊して製法と共
重山嶋に渡り耕夫數十
揮し開墾植蔗の業を企
の以て能く爲し難きを
配付したり而して松岡
を抱き遂に相合同して
なり授其願書は洋式製
として本書に添付せし
は洋和折中にして當分
を記しあれば最初より
らず況して製糖の方法
圖を興し茲に漸く原料
方法を講ずべきものに
の自由意志に屬するを
許可せしむるも亦重き
且つ大嶋氏は出願人等
たるを喋々して其目的
たれども開墾と製糖と
以て出願人等は一方に
共に製糖上に要する資
組織の準備中なり而し
氣に人口の増加を妨げ
勵むに堪へざるより
に貸付すと云ふが如き
す假りに斯る計畫をな
る笑ふに堪へたりと云
事たる嶋民の利益を奪
は補付後少くも一年
事能はず從て未だ貸下
の事を云々し延いて時
許可の主として開墾に
に製糖場の如きは敢て
は明年を以て舉行す
回内國期業博覽會の
眼を謀らんと過般未だ
都協會なるものを組織
二十八日商業會議
逐條審議せし上創立委
に濱岡光哲、内貫甚三
商工業組合中の博覽會
評議員會を開き若し

○京都協會發起
曾て第五議會に於け
調査の質問に對し政府
辨せられたり爾來數

○曹洞宗
曾て第五議會に於け
調査の質問に對し政府
辨せられたり爾來數

○東京府告示第二十四號
鳥取地方裁判所管内溝口區裁判所根雨出張所來ル六月
十一日ヨリ開廳ス
明治二十七年五月三十一日 司法大臣 芳川顯正

○東京府訓令第三十號
郡市町村區 公私立學校
公私商業學校尋常中學校專修科其他ノ學校ニ於テ生徒
ノ商業實習ノ爲ニ紙幣ニ見紛ハシキ裝飾ヲ加ヘタル紙
片ヲ用ユヘカカラサル旨文部大臣ヨリ訓令相成候ニ付此
旨心得ヘ

○石垣嶋官有地の貸下に就て
沖繩縣八重山
群嶋の中石垣嶋の官有野凡を二千五百坪を松岡康毅
氏外八名に貸下けたる旨趣は洋式の製糖場を建設する
に在り然るに請願人等は當初の願書を捨てし願みず單
に開墾の土地を土民に貸付けて地代を徴せんとする